

第18回企画展

共催：手と目でみる教材ライブラリー

協力：

武蔵野音楽大学楽器ミュージアム

一ツ目弁天会

公益財団法人 相川考古館

独立行政法人 情報処理推進機構

新潟大学工学部 渡辺哲也

富田清邦

片岡亮太

和楽器の世界 琴線に触れる



2026年

5/20(水)



9/26(土)

開館日◎祝日を除く水・金・土曜

(8月12日・14日・15日は休館です)

開館時間◎10時～16時

(10時、13時、15時、各約1時間のご案内です)

●事前予約制です

【お申込み・お問い合わせ】

ふれる博物館 開館日

090-3247-7290

(10時～16時)

その他の日は日本点字図書館へ

03-3209-0241(代) (9時～17時)

ご予約時には、お名前、人数、障害の有無、
電話番号等をお尋ねいたします。

日本点字図書館附属
池田輝子記念

ふれる
Tactus Museo
博物館

琴線に触れる 和楽器の世界

共催：手と目でみる教材ライブラリー

奈良時代、中国から様々な文化が入りましたが、楽器もその一つで、わが国で独特の変化を遂げました。前回の企画展は明治以降西洋から入ってきた西洋楽器を中心に紹介しましたが、今回は江戸期以前からある和楽器を中心に紹介します。

視覚障害関係では、近世箏曲の始祖八橋検校、琴の二大流派を興した生田検校、山田検校などがおり、百人一首でも有名な蟬丸は琵琶盲僧だったなど、昔から視覚障害者と音楽はつながりがありました。

今回の企画展では、琴、三弦、和太鼓、篠笛、尺八、琵琶、笙などを展示します。この機会に触れてみてはいかがでしょうか。

また、明治天皇の遺品であるオルゴールを展示します。明治の日本の曲をお聴きください。



ふれれば 目開く想い

日本点字図書館は、創立以来、「読書のよろこび」に重きをおいて、多くの視覚障害者利用者に図書の情報をお届けしてきましたが、見えなからこそ「ふれて知る愉しみ」といったものについては、用具シヨップで扱うおもちゃやゲーム類を除けば、積極的な関わりを持つてはきませんでした。

盛岡にあります「桜井記念・視覚障がい者のための手でみる博物館」や大阪の「国立民族学博物館」などでは、手で触れる美術品や工芸品などを楽しむ視覚障害者が大勢います。最近では写真に熱中する人さえおります。こうした視覚障害者の話を見聞きするたびに、当館としても、何か文化的な事業ができないかと考えていました。

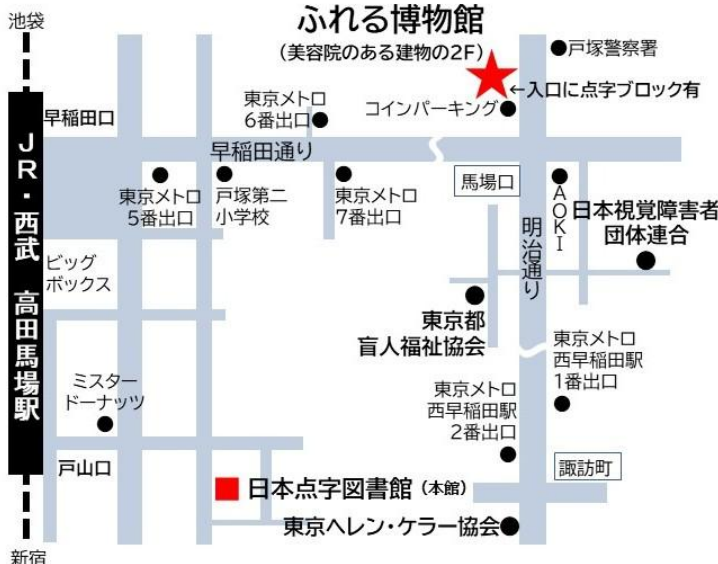
それが今回の「ふれる博物館」につながったのです。見える人の世界では、百聞は一見にしかずという言葉がありますが、私たち視覚障害者にとっては、百聞は一触にしかずということがあるのです。まさに、ふれれば 目開く想いを抱き、聞くだけでは分からない豊かな情報を得ることができるのです。

今後どのように発展させていくかが課題ですが、現代の技術を使った展示品や歴史的資料の収集や、本間一夫記念室等と相まって、当館の基礎的な文化の発信などに努めていきたいと考えております。

社会福祉法人日本点字図書館

元会長 田中徹二

(二〇一八年四月一日)



★ご来館についてのお願2つ

- ・開始の5分から10分前ごろにお越しください。
- ・交通機関その他の事情で遅れる場合には、お電話にてふれる博物館にご連絡ください。090-3247-7290

★展示物をさわる際のお願3つ

- ・入口で手指の消毒をお願いします。
- ・腕時計、指輪ははずしてください。
- ・破損しないよう、やさしくさわってください。

【アクセス】

- ・JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅下車徒歩約10分
- ・東京メトロ副都心線 西早稲田駅2番出口から徒歩約7分
- ・駐車場はございません。

東京都新宿区高田馬場二丁目3-14 アイ・ブライツ2階
(1階は美容室「DI MODA」 路上に誘導ブロック有)